

グローバルに移動する人々

—文化・ことばの教育・相互理解—

People on the Move
- Culture, Language education and Mutual understanding



東悦子 HIGASHI Etsuko

教授
Professor

専門領域 Areas of expertise

- 移民・移住
Migration Studies
- 英語教育
English Education
- 異文化間コミュニケーション
Intercultural Communication

主な担当科目 Subjects

- わかやま観光事情
- 観光と異文化理解
- English Lab I A
- 基礎演習
- 観光文化研究 A



研究活動 Research

主なテーマ：

- ① 和歌山県から世界各地へ移民した人々に関する「移民研究」
- ② 「小学校英語教育」に関する研究
- ③ 観光と異文化間コミュニケーションに関する研究

①の研究：

消失しつつある移民・移住の歴史を記録し継承することを目的としています。移民研究は、異文化への適応や自国の文化やことばの継承の問題や、労働のために近年来日している日系の人々をはじめとする多様な文化背景を持つ人々との共生という課題が深く関わっています。百数十年も前に労働を目的として、ことばも文化も異なる国へと海を渡った人々から、現在に生きる私たちも、さまざまな学びを得ることができます。

②、③の研究：

児童の外国語活動における効果的な指導法や指導者研修プログラムの開発を目的としています。外国語を身につけることは、言語のスキルを高めることだけでは充分ではありません。国際理解の視点も不可欠です。また観光においても、ツールとしての言語のスキルと、異なる文化背景を有する人々との交流を図るために異文化間コミュニケーションに関する学びが必要とされます。



東洋人街（ブラジル・サンパウロ市内）



世界遺産 イグアスの滝

ゼミ活動 Education

- ブックレビューを執筆し「日本語」でまとめる力を養います。
- 「英語」の文献を読み、日本語に翻訳／要約することによって、英語の読解力を向上し、意見交換によって内容理解を深めます。
- 社会の諸課題に対して賛否両面から討論し、多角的な視点を養います。
- イベント（展示、セミナー、勉強会など）への参加やホストを経験し、体験を通して仲間と協力し、イベントの企画や接遇などを学びます。
- 合同ゼミ（異学年ゼミ、研究室卒業生とのゼミ、国際ゼミなど）を開催し、さまざまな人々とのコミュニケーションと学び合いの場を持ちます。
- 4年生は、論文講読および発表・議論によって考えを深め、論文作成に必要なスキルを身につけます。

「ゼミの雰囲気は和気あいあいとしつつも、ゼミ活動を通して切磋琢磨しています」